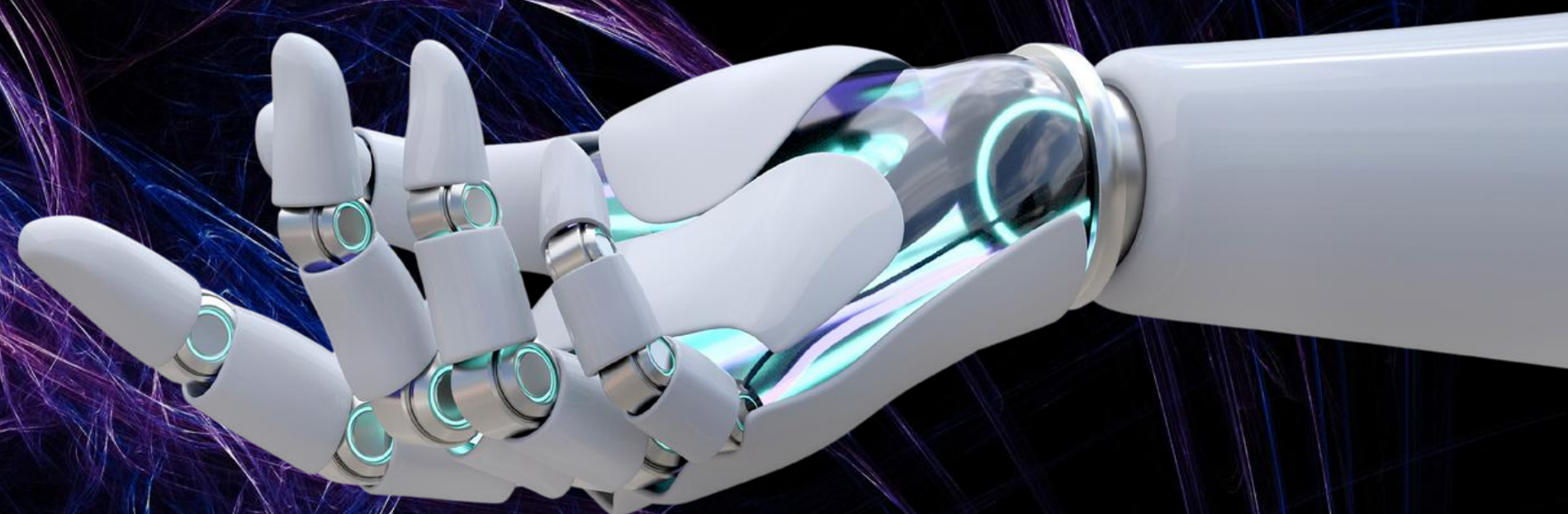


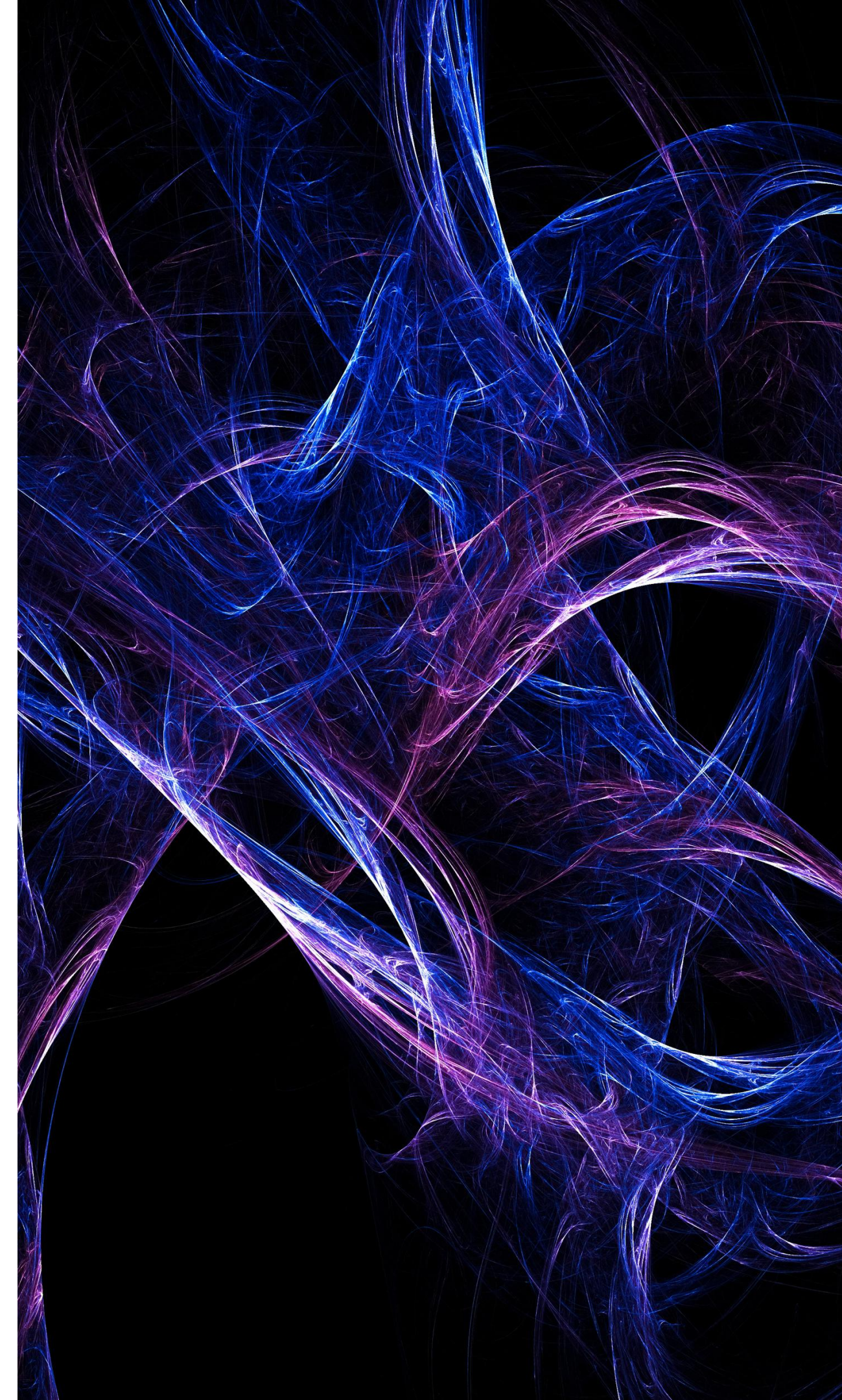
DX化支援研修サービス 生成AI社内浸透編

生成AIの進化と助成金制度を追い風に、今は企業がAI人材を育成する絶好の機会です



会社概要

- ・社名：オフィスコンサルティング株式会社
- ・本社：〒220-6008神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1
クイーンズタワーA807
- ・事業内容：教育訓練事業 電力小売事業
光コラボレーション事業 OA機器販売事業等
- ・設立：2018年10月
- ・ホームページ：<https://office-consulting.co.jp/>



ご提案の概要

はじめに

「生成AIってなんだか難しそう…」そんな印象をお持ちの方もご安心ください。本研修では、不動産会社・清州不動産を舞台に、社長室からDX推進室へ抜擢された木下室長が、それぞれの部長の性格や仕事の進め方に寄り添いながら、生成AIを社内へ浸透させていくプロセスを追体験します。

専門知識や複雑な操作は一切不要。
無料ツールから気軽に始め、小さな成功体験を積み重ねながら、現場の抵抗感を和らげ、AI活用を「特別なこと」ではなく「日常の一部」にしていく道筋を学びます。

ゴール

この研修の目的は、単に生成AIの仕組みを知ることではありません。
「自分の業務にもこう活かせるかも！」という実感を持ち帰り、学びをそのまま自社のDX推進や業務改善の第一歩へとつなげることです。

本プログラムで学ぶAI

- ・ ChatGPT
- ・ Perplexity
- ・ Runway
- ・ NotebookLM
- ・ Genspark
- ・ Claude
- ・ CapCut
- ・ Chatwork
- ・ イルシル
- ・ ImageFX
- ・ Gemini
- ・ Notion

本プログラムのポイント

- ① 無料版から気軽にスタート
 - ・ 強制せず、全社員が自分のペースでトライ。
 - ・ 失敗のリスクを抑えながら、自然と“AIって面白い”という興味を育む。
- ② 部門ごとの最適アプローチ
 - ・ 営業、物件管理、広報、管理部など、部署ごとの業務特性や部長の個性に合わせて導入を設計。
 - ・ “一律”ではなく、“最適化された導入”でスムーズな浸透を実現。
- ③ 小さな成功体験の積み重ね
 - ・ 「残業が30分減った」など、数字には現れにくい変化も大切に。
 - ・ こうした小さな成果を共有し、社内の空気を少しずつ前向きに変えていく。
- ④ 段階的なステップアップ
 - ・ 無料ツールから始め、成果を確認しながら有料版へ。
 - ・ 投資対効果が見える化しつつ、全社展開を無理なく進める。

なぜ今、AI研修なのか

01

ChatGPTの登場

この1~2年で、生成AIの性能と利便性は劇的に向上し、私たちの働き方を変える存在となりました。

02

デジタル人材育成

デジタル人材をどう育てるか——

それが、これからの企業成長を左右する鍵となっています。

03

国の支援

国もまた、500億円もの予算をかけて人材育成を後押ししています。

いま、学びのチャンスが広がっています。

ご利用企業:こんな法人様にご利用いただいています

- 01** AI活用を感じる不安を、確かなスキルに変える
 - ・すでにAIを使っているものの、「本当に活用できているのか」と不安を感じている方へ。
- 02** 複数ツールを掛け合わせて“使いこなす”力を養う
 - ・ ChatGPTなど複数のAIツールを連携させ、業務効率を飛躍的に高める実践スキルを学びます。
- 03** 限られた時間で成果を最大化
 - ・ 忙しい日々の中でも、AIを使って時間とリソースを有効活用。
 - ・ 短時間で「即戦力」となる実践的スキルを身につけます。
- 04** 現場で“すぐに使える”AIスキルを習得
 - ・ 実際の業務課題を題材に、今日から役立つAI活用法を体得します。

研修内容 — 当社の教材が選ばれる理由

目的に合わせた実践型 コースを用意

実務で本当に使えるスキルを身につけるために、目的別に最適なコースをラインナップ。

共感できるストーリー で学びが深まる

身近なストーリー展開を通じてAI活用の具体的なイメージが湧き、学んだ内容をそのまま実践に活かします。

直感型LMS

多くの受講者様から直感的で分かりやすいと高く評価されており、安心して利用できる

生成AI社内浸透編

主に学び、習得できること

- ・ 生成AIの基本理解
- ・ 部門・個人に合わせたアプローチ
- ・ 段階的拡張と効果可視化
- ・ アイデアの実践化ワーク

本研修の

ストーリー部分の特徴

収録ストーリー概要

難しい操作や高額ツールの導入は一切不要。

まずは無料版ツールから気軽に始め、小さな成功体験を積み重ねながら現場の抵抗感を和らげ、最終的にAI活用を組織文化として根付かせるプロセスを学びます。

構成の工夫

従来の研修課題

内容が硬すぎる

頭に入ってこない

活用シーンを想像できない

当社のDX化支援研修サービス

興味喚起

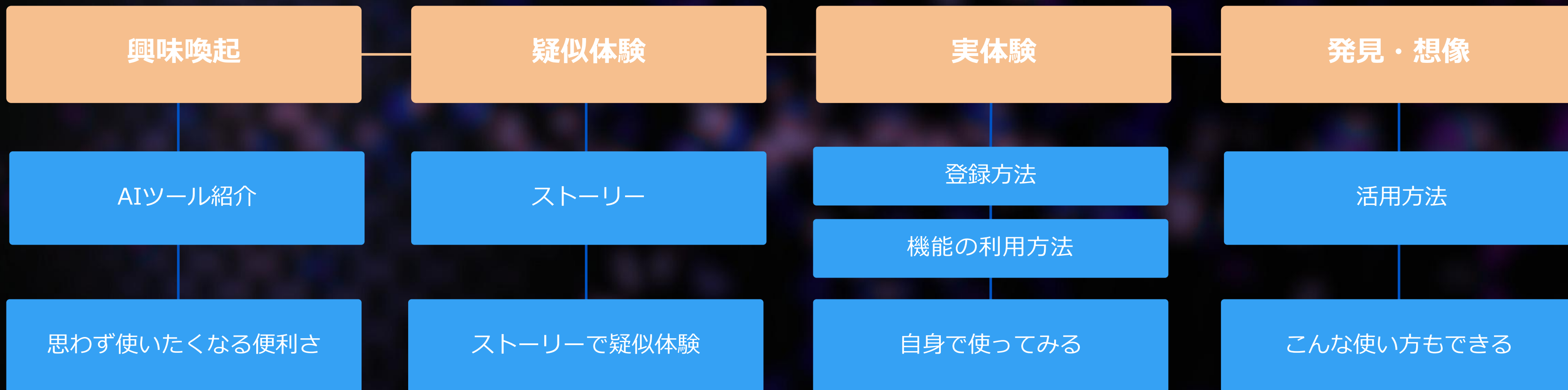
疑似体験

実体験

発見・想像

一般的な研修でありがちな飽きやすい、活用につながりにくいといった課題を解消するため、受講者が実際の活用イメージを描きやすい工夫を随所に取り入れました。結果として、楽しみながら自然にスキルの応用力が身につく内容となっています。

各章の構成



利用できる助成金の基本情報対象

対象の助成金：人材開発支援助成金の事業展開等リスキリング支援コース

- ・ 助成金を活用することで、研修費用の負担を大幅に軽減
- ・ 中小企業がAI人材育成に取り組む絶好のチャンス

01 助成金の対象

新たな商品サービスの提供や
新分野進出、DX化による
業務効率化が対象

03 助成率

中小企業75%、大企業60%

02 年間最大助成額

1事業所当たり1億円

04 従業員1人当たりの 経費助成限度

研修10時間～100時間の場合、
中小企業15万円、大企業10万円

学ぶだけでなく「自分の仕事に活かせる！」を 実感できるストーリー

ふむ、これは面白い。評価まで自動で
実戦形式で鍛えられ教育の手間も減る。

GPTのクレームは鋭く、部内の本格育成ツールにできそうだ。

人手でも気づけるだろうが、短時間でAIが
一次分析できるのは驚きだ。

見た目確認だけでなく、販促や提案にもつな
がるのか。



各章で学べるAIツール、便利ツールと活用方法

- 全6章構成
- 標準学習時間：約11時間39分
- 収録カリキュラム：動画80本

1章	2章	3章
<ul style="list-style-type: none">・ AIの多様な利用シーンの習得	<ul style="list-style-type: none">・ ChatGPT…顧客対応トレーニング・ Genspark…情報収集・資料化・ イルシル…資料作成自動化と業務効率化	<ul style="list-style-type: none">・ Perplexity…情報収集、与信調査
4章	5章	6章
<ul style="list-style-type: none">・ Claude…データ分析、LP制作・ ImageFX…ハイクオリティな画像生成・ Runway…画像生成と連動した動画制作・ CapCut…動画編集	<ul style="list-style-type: none">・ Gemini…顧客対応トレーニング・ NotebookLM…情報収集・資料化	<ul style="list-style-type: none">・ Chatwork…タスク管理応用・ Googleフォーム…自動返信方法・ Notion…情報の一元管理方法

LMS機能付きプラットホームについて

01 直観的に分かりやすいデザイン

お客様からも「直観的に分かりやすい」という評価を多数いただいております

02 結果の管理

受講者ごとの学習進捗・視聴日時の記録をCSVデータでの出力が可能です

03 飛ばし見防止機能付き

受講者にしっかり学んで頂くため、初回のみ飛ばし見防止が作動する設計になっています

04 受講完了後の修了証明書発行機能付き

受講を完了した証として修了証明書が発行されます



修了証イメージ



プラットフォームイメージ

受講料金・サービス料金

1名 363,000円（税込）

AIの活用に特化した研修をパッケージ化し、
LMS機能（学習管理システム）を有した、
eラーニング動画形式です

動画視聴後は日常業務にAIを取り入れて、
プロモーション映像制作も自社内でできるようになります



120日間は繰り返し視聴できます・標準学習時間：約11時間39分

助成金・助成額について

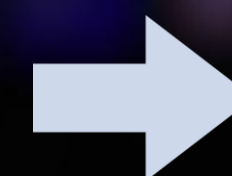
助成金の活用

厚生労働省の「人材開発支援助成金－事業展開等リスクリング支援コース」の申請が可能です

研修費用の最大150,000円が助成金として支給されるため実質的な費用負担が軽減

助成金を利用しない場合363,000円／1名（税込）

363,000円 / 1名

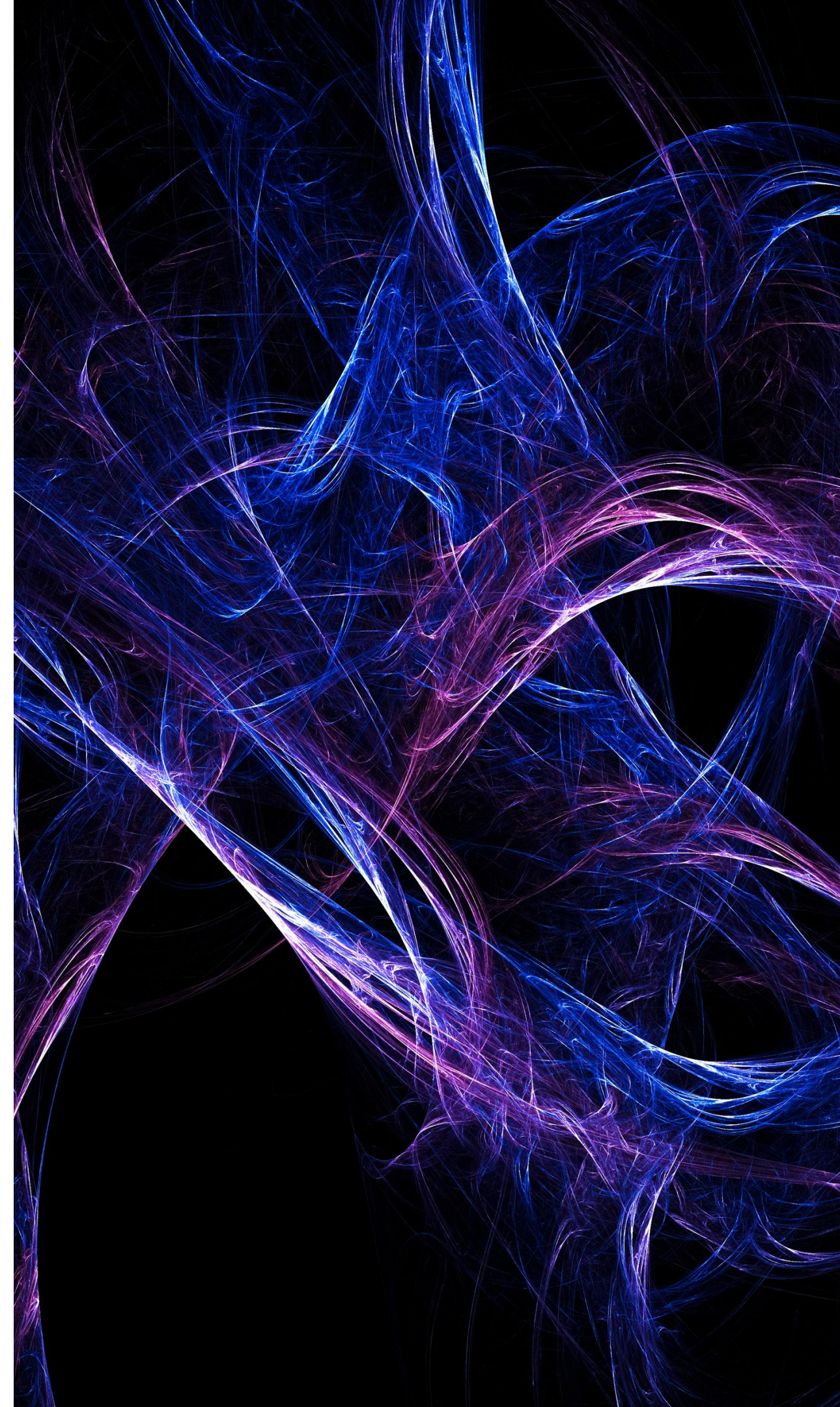
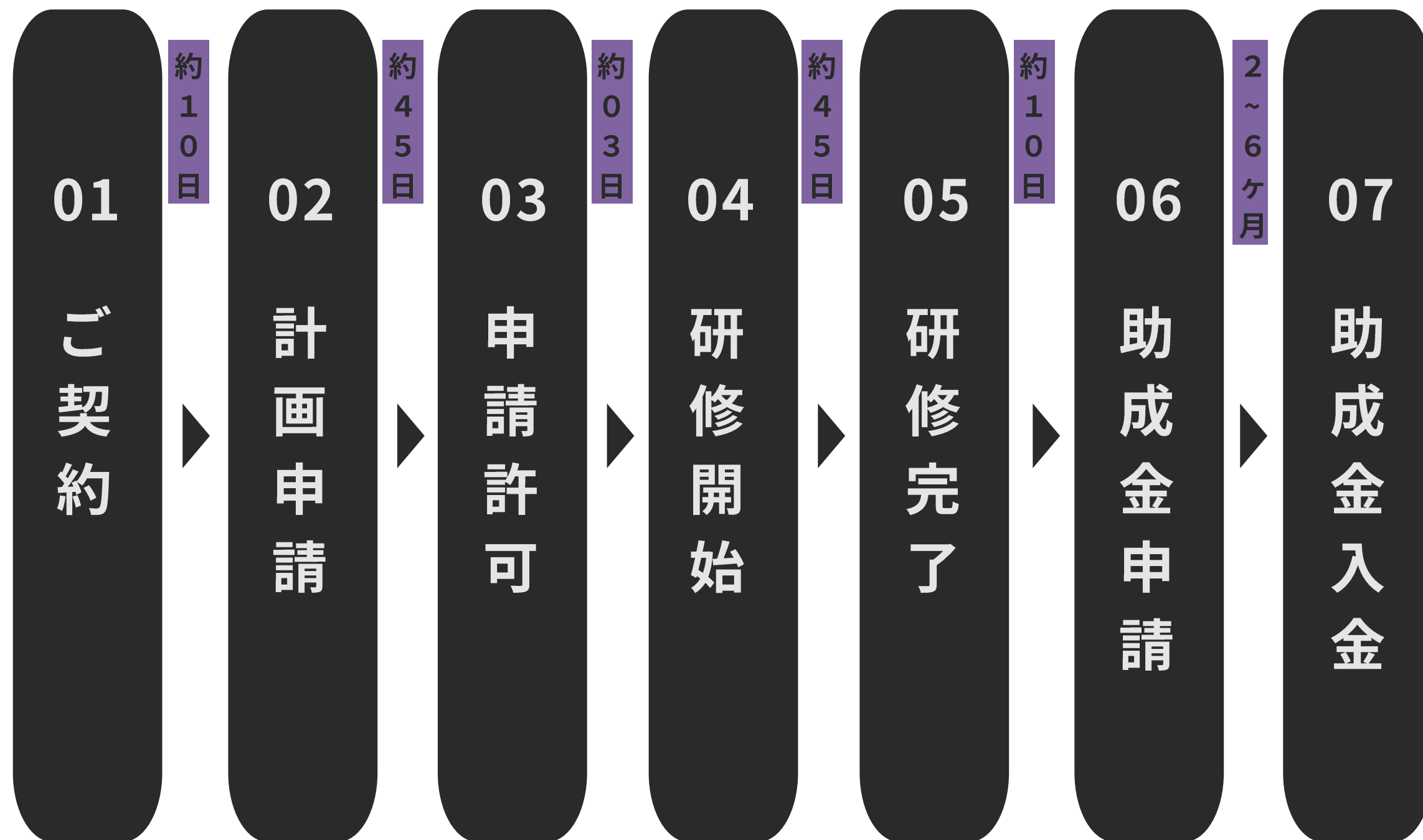


研修費用を
最大150,000円削減
(中小企業の場合)

213,000円 / 1名

大企業は最大100,000円削減となります

ご契約から助成金入金までの流れ



ありがとうございます

生成AIの進化と助成金制度を追い風に、今は企業がAI人材を育成する絶好の機会です

